

その姿から学ぶ

生活指導部 熊坂佳太郎

地域別児童会の目的の1つに、登下校中はお互い助け合い、教え合う関係性を築くというのがあります。昨年秋頃、下校中にある方面の電車が動かなくなり、子ども達が帰宅できなくなるということがありました。学校に連絡をくださった方からの話を聞くと、高学年の子ども数人が下学年をまとめ、安全に下校できるルートを確認した上、各自無事に下校できるよう手助けをしてくれたということでした。目の前で緊急事態が起きたにもかかわらず、みんなのことを考えて「自分達から行動できた」ことは本当に価値のあることだと考えています。そして、そういう立派な姿は先輩から後輩に伝播します。また言葉で教えられる以上に思いやりの気持ち、助け合うことの大切さへの気付きにつながります。子ども達は日々、大人の見えないところで大きく成長しています。その成長を見逃さずに価値を与えていく積み重ねをこれからも続けていきます。

「泰明マラソン」

体育委員会 船木 裕介

3月9日(土)に平成30年度の泰明マラソンを実施します。今年度も、年が明けてから寒さがいっそう厳しくなりましたが、吐く息も白い中、各学年の児童はこの日に向けて、体育で繰り返し練習に励んでいます。

泰明マラソンの当日のコースは、学校を出発して、外堀通り、コリドー通りと、銀座の街を走り抜けていきます。銀座の街を走り抜けるという経験は、泰明小学校の児童だからこそ味わうことのできる貴重な体験の一つで、子どもたちも張り切っています。

現在、泰明小学校は校庭改修を行っております。子どもたちは、新しくなった校庭で練習するのを楽しみにしています。体調面に気を配りながら、練習を頑張る児童たちを学校全体で応援していきます。

クラブ活動

特別活動部 水野 雅史

「小学校の頃、何のクラブに入っていましたか？」と聞かれたら、あなたは覚えていませんか。私自身は、「球技クラブ」と即答できます。その理由は、とても楽しかったからで、今でもキックベースのゲーム風景を思い出すことができるほどです。泰明小学校の4・5・6年生も、クラブ活動の時間になると、今日はどんな活動をするのかと、楽しみな様子で自分の選んだクラブへ向かいます。

1月下旬に、来年度から初めてクラブ活動に参加する3年生が、クラブ見学をしました。本校にはスポーツクラブ、バドミントン・羽根つきクラブ、卓球クラブ、ペーパークラフトクラブ、科学クラブ、パソコンクラブ、手芸・料理クラブ、ボードゲームクラブと8つのクラブがあります。見学時には、緊張気味だった3年生も、来年度からは学年の枠を超えて仲良く活動し、楽しい時間となると思います。私と同じように、大人になっても心に残るような体験ができるよう、学校も子ども達の想いに寄り添い、活動の手助けをしていきます。

命の最前線から

三学年担任 大庭正泰

2月に行われる学校公開では、1年生と3年生の合同で聖路加国際病院から助産師さんをお招きし「命と心の授業」を行います。

受精したばかりの赤ちゃんが、どのような大きさになりながら母親のお腹の中で成長するのか。妊娠をした母親に、どのような体の不自由さがあるのか。成長する赤ちゃんの映像やお腹におもりの入ったエプロンを着させてもらう体験なども交え、教えていただきます。

一方、助産師さんの仕事は、生まれる命を最前線で抱き上げ、新しいお母さんの元に赤ちゃんを届けることだけではありません。残念ながら、産声をあげない赤ちゃんを抱き上げることもあるそうです。その意味でも、私たちの命は数々の奇跡や出会いを経て、今、ここにあります。

この世の中に誕生する一人一人の命は、どれも例外なくかけがえのない命であるということを経験の中で学習することができるでしょう。併せてこの機会に、ここまで大切に自分を育てくれた親に感謝の気持ちを抱くことができるよう願っています。